
P'sスマイル保育園

令和7（2025）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研Advance

②施設・事業所情報

| | | | | |
|------------------|---|------------------|---|---------------|
| 名称： | P'sマイル保育園 | 種別： | 認可保育園 | |
| 代表者氏名： | 施設長 佐藤 吏良 | 定員（利用人数）： | 54（52）名 | |
| 所在地： | 230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-1-1 シアル鶴見6階 | | | |
| TEL： | 045-511-5150 | ホームページ： | https://www.doronko.jp/facilities/pssmile/ | |
| 【施設・事業所の概要】 | | | | |
| 開設年月日 | 2013年4月1日 | | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）： | 社会福祉法人どろんこ会 | | | |
| 職員数 | 常勤職員： | 14名 | 非常勤職員： | 6名 |
| 専門職員 | 保育士 | 14名 | 栄養士 | 1名 |
| | 看護師 | 0名 | 調理員 | 2名 |
| | 事務員 | 1名 | | |
| 施設・設備の概要 | 居室数 | 保育室1室、調理室、子育て支援室 | 設備等 | トイレ、シャワー、屋上園庭 |

③理念・基本方針

【子育て理念】
 にんげん力。育てます。
 「にんげん力」を身につけるために必要な遊び・野外体験を提案実践し“自分で考え、行動する思考”を育みます。

【子育て目標】

- 1.センス・オブ・ワンダー
 子どもが“自然の中での体験”を通して、ものの性質や身近な事象・生命の尊さ・食材や食の循環に気付くことができるように多くの実体験の機会を提供し、子どもが“したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。
- 2.人対人コミュニケーション
 園外では「すれ違ったすべての人」と挨拶を交わすことを園の約束としています。銭湯でお風呂の日、商店街ツアー、青空保育など地域交流を実施し、一人でも多くの人と挨拶を交わし、一つでも多くの仕事を目にする機会を用意し、“感じたこと・考えたこと”を言葉で、ジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。

④施設・事業所の特徴的な取組

P'sスマイル保育園は、どろんこ会グループの保育園です。どろんこ会グループは独自の取り組みとして、「私たちが育てる6つの力」を掲げています。ケガをしない体を育てる、自分でできることを自分でする、すべての人とのかかわりから判断・行動を身につける、活動を洗濯し、自分で考えて行動する、制止を知る・食の循環を知る、感じたこと・考えたことを表現する、の6つの柱を立て、それらの子育ての実施内容に反映させています。

裸足保育、座禅、雑巾がけ、異年齢保育、長距離散歩、畑仕事、銭湯入浴の日、自然に触れる活動、就学前教育など、独自の取り組みを行うことによって、0～5歳児が共に暮らし、頼りたい相手・遊びたい相手・遊びたい場所を子ども自らが選択し、行動できるようにしていきます。

子どもたちに美味しいものを生み出すための労働を体験させたい、大自然の中で思い切り遊ばせたい、などの思いから農業生産法人を設立し、ライスセンターを建設しました。15年をかけて植え付けから収穫・精米・発送までの給食米の完全自足を実現しました。課外体験プログラムとして、新潟県南魚沼市で田植え・稲刈りに挑戦し、大自然の中で遊ぶ1泊2日の宿泊体験を3～5歳児の家庭に案内し、希望する家庭が任意で申し込み・参加できるようになっています。参加園児が新潟県南魚沼市で田植え、稲刈りした南魚沼コシヒカリを園の給食に使用しています。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---|
| 評価実施期間 | 2025年5月30日（契約日）～ 2026年3月11日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 2 回（ 2020 年度） |

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもを尊重した保育をし、保護者と共通認識を持てるようにしています

どろんこ会グループは「私たちの子育て」として、「いうことをきく子を育てるのでも、指示を待つ子を育てるのでもなく、共に遊び、共に労働し、頼り合い、ぶつかり合い、手を差しのべあう。年齢の違いや障害の有無にかかわらず、どの子ども、やってみたいこと・思い通りにならないことの両方を実際に経験する」と明示しています。園では、事業計画策定会議やキックオフミーティング、園会議を通じて、子どもを尊重した保育に関する職員の共通理解を確認しています。また、「保育品質マニュアル」を全職員に配布し、いつでも確認できる体制を整備しています。さらに、年2回チェックリストによる自己評価を実施し、保育の質向上に努めています。

◆食育計画表に基づいて、年齢ごとにねらいを設け食育活動をしています

園独自の食育計画表があり、該当年齢に沿った活動内容や目標を決めています。また、保護者支援の内容についても記載しています。子どもたちに人気のあるレシピは、印字化して紙面にして掲示し、保護者が内容を確認できるようにしています。園庭での野菜栽培、クッキングなどの食育活動を行っています。1～2歳児、3～5歳児が同じテーマで行うクッキングを実施していますが、ワンフロアの保育室に全学年の子どもたちがいるので、調理保育をする際は主に1～2歳児と3歳児以上の子どもをわけて、年下の子どもたちから始めます。調理は給食室の前で実施しますが、年齢ごとに設定された調理保育の内容に合わせて、作業を分けています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、第三者評価を受審し、当園の保育を客観的にご評価いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

評価結果を真摯に受け止め、職員一同、改めて保育園の理念に立ち返り、保育の質向上に取り組んでまいります。

特に、自然に触れられる機会や地域活動を丁寧に取り入れている点についてご評価いただきました。また、食育に関しては、本部の食育プランナーの助言を受けながら旬の野菜を取り入れている点や、屋上の畑と連動した取り組み、バイキング形式により子どもが自ら盛り付けを行う工夫について高い評価をいただき、大きな励みとなりました。

一方で、今回課題として挙げられた、感染症対策に関する保護者様への公表や、保護者様が意見を述べやすい環境の周知については、本部と共有のうえ、マニュアルに基づき、掲示やタイムライン等を活用し、保護者様により分かりやすくお伝えできるよう改善してまいります。また、職員体制につきましても本部と連携し、職員配置の充実を図ることで、より安定した運営と保育の質向上に努め、より良い保育が展開できるように努めてまいります。

今後も、お子様や保護者様に安心して保育園に通っていただけるよう、職員間の連携を密にし、丁寧な対話を心掛けてまいります。

今回の結果を踏まえ、より一層の改善・向上に努め、子どもたちに丁寧な保育を行い、安心して通っていただける環境づくりを大切に、保護者様に信頼される保育園を目指して邁進してまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり

第三者評価結果

事業所名：P'sスマイル保育園

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

| | |
|--|---------|
| (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | 第三者評価結果 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 </div> | a |
| <コメント> どんごんこ会グループの子育て理念は「にんげん力。育てます。」、子育て目標(基本方針)は、「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」となっています。園の全職員が、秋のどんごんこ会グループの「全体研修」にて、理事長からどんごんこ会グループの理念や基本方針の説明を受けます。施設長は、毎年2、3月に行う次年度の園の事業計画策定時に、職員に理念、園の基本方針を説明します。保護者に配布される「入園のしおり」は、写真や表を使い分かりやすく園の理念や基本方針を表しています。保護者会において、施設長が、園の基本方針に基づき、「力を入れていること。」について説明しています。 | |

2 経営状況の把握

| | |
|--|---------|
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | 第三者評価結果 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 </div> | a |
| <コメント> 園の全職員は、秋のどんごんこ会グループの「全体研修」にて、社会福祉事業全体の動向分析の説明を受けます。また、職員は、どんごんこ会グループの広報部が発信する職員向け情報サイトにより、随時、動向情報を確認することができます。園には、横浜市からメールなどで地域の各種福祉計画の情報が提供されています。また、鶴見区とは、待機児童の状況や、園の開設予定などの情報交換を行っています。本部開発部が、定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率などの分析を行い、グループ各園に情報提供を行っています。施設長は、毎月園の支出について、予算との差異を確認しています。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 </div> | a |
| <コメント> どんごんこ会グループにおいて、経営環境、組織体制、人材育成などの現状分析を行い、具体的な経営課題や問題点を明確にしています。職員は、「全体研修」にて、法人の取り組み内容、結果などの説明を受けています。どんごんこ会グループは月1回役員会、週1回経営会議を開催し、役員間で、経営課題や経営状況の確認、分析結果の共有を行っています。月1回の施設長会議において、経営課題などの説明があり、職員は、会議議事録で内容確認をしています。運営本部が策定した「運営本部Mission」という形で、施設運営方針が示され、園ごとに、事業計画を作成し、具体的な取り組みを進めています。 | |

3 事業計画の策定

| | |
|--|---------|
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | 第三者評価結果 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 </div> | b |
| <コメント> どんごんこ会グループの中・長期計画および収支計画は本部で策定されており、園ではグループ運営本部が示す「運営本部Mission」に基づき、施設長が園の中・長期計画を立案しています。2025年度の園の目指す姿は「多くの人と交流するを経験し、やり取りを行う」となっています。毎年更新される事業計画において、必要に応じて中・長期計画の見直しを行っています。園として3か年計画を作成し、方向性は明確に示されていますが、今後は数値目標や具体的成果を盛り込み、計画の進捗や実施状況を客観的に評価できる内容とすることで、より実効性の高い計画運営が期待されます。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 </div> | a |
| <コメント> 園の単年度事業計画は、中・長期計画および前年度の基本方針の進捗や課題を踏まえて策定されており、年度のテーマや目指すべき姿を明確に示しています。内容は、保育の充実と質の向上、施設長が重点的に取り組む事項、保護者支援、地域の子育て支援事業、職員育成、危機管理、実習生の受け入れなど多岐にわたる総合的な構成となっています。計画には具体的な成果目標が設定されており、研修や小学校との連携、園運営向上の取り組みでは、開催予定日やテーマを明示することで、後日、実施状況の振り返りや評価が行いやすい内容となっています。 | |

| | |
|--|---|
| (2) 事業計画が適切に策定されている。 | |
| 【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | a |
| <コメント> 次年度の事業計画は、毎年2、3月の策定会議で、施設長が「運営本部Mission」を受け、次年度の方針を示し、園職員とともにまとめます。本部との調整後、施設長は、4月の園会議において、新しい事業計画を職員に説明します。当年度の実施計画の振り返りは、12月の面談や、1月の園会議において行い、事業報告書としてまとめるとともに、次年度の実施計画作成につなげています。これらの手順については、「保育品質マニュアル」に記載されています。毎月の園会議で事業計画の理解と、進捗確認を行うとともに、年2回内部監査室が行う内部監査において、事業計画の進捗状況確認、評価が行われています。 | |
| 【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | a |
| <コメント> 園の実施計画は毎年、どろんこ会グループのホームページで公開され、誰でも閲覧できるようになっています。入園時に配布される「入園のしおり」には、写真や図表を用いて保育内容や方針が分かりやすく説明されています。年2回の保護者会では、施設長が園の理念や保育で重点的に取り組んでいる内容、年間行事などについて説明し、保護者の理解促進を図っています。また、連絡帳アプリや配布文書を通じて、写真を交えながら各クラスの活動の様子を発信し、4月には年間行事計画をアプリで配信しています。さらに、毎月発行する「園だより」で行事案内を行い、運動会やお祭りなどへの参加を呼びかけています。保育参加の機会を積極的に設け、毎月実施されているほか、任意参加の保護者組織「どろんこサポーターズ」への参加案内も行い、保護者との連携を深めています。 | |

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

| | | |
|---|--|---------|
| (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | | 第三者評価結果 |
| 【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | | a |
| <コメント> どろんこ会グループは、PDCAサイクルに基づく、保育の質向上に向けた取り組みを行っています。全職員に配布される「保育品質マニュアル」で具体的に記載されています。各職員は、「目標管理シート」を活用し、目標設定を行い、中間面談、最終面談で実施状況の確認を行っています。どろんこ会グループで開催する毎月の「子育ての質を上げる会議」に、園の担当者が参加し、園の課題に合わせて職員でアクションプランを決め、実行するようにしています。毎年度末に、園の実施報告書を作成し、園やどろんこ会グループで自己評価を行っています。第三者評価は、今回が3回目であり、定期的に受審をしています。品質における国際規格であるISO9001を取得し、認定機関による定期的な審査を受けています。 | | |
| 【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | | a |
| <コメント> 園では、毎年自己評価として実施報告書を作成し、「保護者アンケート」の結果などを踏まえて、2月の事業計画の策定会議で次年度に向けた課題を職員間で共有しています。3月の策定会議で、施設長が職員と協議し、課題を反映した事業計画をとりまとめています。日常の園会議や昼礼会議でも業務上の課題を随時話し合い、改善策を実行しています。また、年2回実施される内部監査では、事業計画の実施状況や改善の進捗を確認し、その場で課題をリスト化しています。園では、これらの評価結果をもとに是正計画を立て、計画的かつ継続的に改善を進める体制が整えられています。 | | |

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

| | | |
|---|--|---------|
| (1) 管理者の責任が明確にされている。 | | 第三者評価結果 |
| 【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | | a |
| <コメント> 施設長は、毎年2~3月の事業計画策定会議において、「運営本部Mission」を踏まえ、次年度の園の方針や重点的な取り組みを明確にしています。施設長の職務分掌は、どろんこ会の「保育園運営規程」に定められています。自身の役割と責任については、職員には園のキックオフミーティングで、保護者には年度初めに連絡帳アプリや園広報誌を通じて表明しています。また、「自衛消防隊の編成と任務」には施設長が隊長、主任が副隊長と明記され、玄関に掲示されています。また、有事（災害、事故など）の時、施設長が不在の際は、主任が現場責任者となることが明記され、不在時の権限委任が明確化されており、園会議で全職員に周知されています。 | | |
| 【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | | a |
| <コメント> 施設長は、関係法令の内容を十分に理解し、利害関係者との適切な関係を維持しています。どろんこ会グループが実施する研修プログラムを通じて法令遵守に関する知識を深め、運営本部が社内イントラネットで提供する最新の法令情報を確認し、必要に応じて園会議で職員に共有しています。特に「人権の尊重」と「情報セキュリティ」に重点を置き、「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」を活用して園内研修で自己評価を行っています。 | | |

| | |
|---|---|
| (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | |
| 【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | a |
| <コメント> 施設長は、日々の保育を見守りながら、主任やリーダーと課題や改善策について丁寧に対話を行い、保育の質の向上に努めています。どろんこ会グループが実施する研修プログラムや「子育ての質を上げる会議」で得た知識や情報を園会議で共有し、職員の教育や研修に活用しています。職員には「自ら考え、行動する」姿勢を重視するよう指導し、学びを園の実践にどのように生かすかを考える機会を設けています。また、園会議などで職員同士が意見を出し合い、互いに学び合う風土づくりを進めています。こうした日常的な取り組みの中で、施設長のリーダーシップが発揮されています。 | |
| 【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。 | a |
| <コメント> 人事、労務、財務などの分析はどろんこ会グループ本部が行い、その結果を各園にフィードバックしています。施設長は、その分析結果を踏まえてグループ運営本部と連携し、園の経営改善や業務の実効性向上に取り組んでいます。近年、職員の離職率が課題となっており、施設長は働きやすい職場づくりのため、日々朝や帰宅時に職員と積極的に対話し、コミュニケーションを大切にしています。業務効率化のために導入された各種ITツールについては、職員間の習熟度に差があることを踏まえ、互いに教え合う風土づくりを推進しています。また、どろんこ会グループ内のチャット（インターネットを介してリアルタイムにテキストメッセージで会話するシステム）を活用し、有効、迅速な情報収集を行い、業務の実効性を高めています。 | |

2 福祉人材の確保・育成

| | | |
|---|---|---------|
| (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | | 第三者評価結果 |
| 【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a | |
| <コメント> 必要な福祉人材の確保は、どろんこ会グループ人事採用部が行っています。グループの「保育品質マニュアル」に「求める人物像」が記載されており、それに見合う人材の確保や人材育成、研修が行われています。人材確保の方法は、求人情報サイト、本部のホームページなどを活用していますが、実習生からの職員採用に特に力を入れています。また、人事採用部が大学や専門学校にアプローチする試みも行っています。人員体制の管理は、どろんこ会グループで行っており、計画的な系列園への異動などにより、グループ内の各園の適正な人員体制を構築しています。 | | |
| 【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。 | a | |
| <コメント> どろんこ会グループの理念と基本方針に基づく「求める人物像」は、「保育品質マニュアル」に明記されています。グループでは資格等級制度を導入し、人事評価、人材活用、育成、処遇が連動した総合的な人事管理が行われています。評価制度では「目標管理シート」を用いて組織目標と個人目標を設定し、達成基準に照らして評価しています。目標が明確であるため、職員との面談での振り返りや評価がしやすくなっています。また、9月に実施する職員の将来に向けての意向調査を踏まえ、異動や昇進、昇格を決定しており、個々の意欲を尊重した運営がなされています。 | | |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | |
| 【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。 | a | |
| <コメント> 施設長が、総合人事管理システムを活用し、職員の有給休暇の取得や、残業時間などの就業状況を毎日把握しています。残業時間は、どろんこ会グループ人事総務部でモニタリングを行っており、一定時間を超える職員は、毎月施設長もしくは人事総務部担当者が個人面談を実施し、原因把握と改善に向け動きます。施設長は、9、10月の職員との面談時に、有給休暇の取得状況について確認し、取得率が高まるような指導を行っています。年3回の施設長との個別面談や、どろんこ会グループ相談窓口の設置など、職員が悩みを相談しやすい環境を整えています。施設長は、日々コミュニケーションを密にとることで、職員の体調変化や、心の疲れの確認を行っています。どろんこ会グループで福利厚生団体に入会し、職員は各種サービスの提供を受けています。 | | |
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | |
| 【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | a | |
| <コメント> どろんこ会グループの人事制度説明会の資料において、人事制度の目指すべき姿が明確になっています。職員一人ひとりが「目標管理シート」を使い、個々の短期目標、長期目標を設定し、自分が描くキャリアや目標に向けて進めるようになっていきます。シートに記載する「組織目標」は、事業計画と連動し、「個人目標」はどろんこ会グループの「コンピテンシー」（職務や役割において優秀な成果を発揮する行動特性）と連動しています。年度初めの面接で目標を確認し、中間面接では進捗を、年度末の面接では評価を行い、職員に結果をフィードバックしています。 | | |

| | |
|---|---|
| 【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | a |
| <コメント> | |
| 「保育品質マニュアル」には人材育成、研修に関する方針と「求める人物像」が明記されています。園では、年間事業計画に基づき、毎月の園会議で「コンピテンシー」を活用した研修を実施しています。施設長は、個々の職員に合った「どろんこ会グループの研修プログラム動画」を個別面談で紹介し、視聴を促進しています。動画視聴後には、学んだ内容や保育への生かし方を共有し、実践的な学びにつなげています。年度末のフィードバック面談では、次年度の研修計画を伝え、継続的な成長を支援しています。研修内容は毎年、事業計画の中で見直しを行っています。 | |
| 【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | a |
| <コメント> | |
| 施設長は、年3回の個別面談において、各職員の資格取得や研修の報告を受けています。新任職員は、オリエンテーション、現場OJT研修、保育品質マニュアル研修などを受けます。担当職員は「子育ての質を上げる会議」、主任は「主任会議」、施設長は「施設長勉強会」に参加し、系列園の職員と現場の状況課題を伝え合いながら、自園の課題に取り組んでいます。職員一人ひとりが、教育、研修の場に参加できるように、必須研修は勤務時間内での参加のためのシフトの調整を行います。また、eラーニングの活用も推奨しています。 | |
| (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | |
| 【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a |
| <コメント> | |
| 実習生の受け入れの基本姿勢は、「保育品質マニュアル」に「次世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成する」と明記されています。園では「受け入れのてびき」に基づき、実習生向けの「オリエンテーションシート」を用いて実習を行っています。受け入れ担当者は、どろんこ会グループの「実習受け入れ動画」を視聴し、実習指導に臨みます。どろんこ会グループの人事採用部が施設長と連携し、実習先の学校とも調整しながら、実習プログラムを作成しています。今年度は受け入れ実績はありませんが、今後も積極的な受け入れを進める方針です。 | |

3 運営の透明性の確保

| | |
|--|---------|
| (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | 第三者評価結果 |
| 【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | a |
| <コメント> | |
| どろんこ会グループのホームページに、理念や基本方針、保育内容、決算情報が公開されています。多くの写真や動画を使い、理念がわかりやすく表現されています。月1回園が発行する「ちきんえっぐだより（地域子育て支援センターだより）」は、地域の家庭を対象とした子育て相談、園開放、イベントの紹介を行っています。第三者評価の受審結果や、苦情、相談の対応状況については、どろんこ会グループのホームページに掲載されています。「ちきんえっぐだより」は、園のホームページに掲載するとともに、「わっくんひろば」（鶴見区地域子育て支援拠点）、「青空保育」を行う近隣の公園、駅前などで親子連れなどに配布をしています。 | |
| 【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a |
| <コメント> | |
| 園の事務、経理、取引などに関するルール、職務分掌、権限・責任は、「保育品質マニュアル」に記載されています。どろんこ会グループの内部監査室が、園における事務、経理、取引などについての内部監査を年2回行っています。内部監査での指摘は、園内で共有、振り返りを行い改善に努めています。園の小口現金についても、内部監査室による巡回監査が行われています。どろんこ会グループの事務、財務に関しては、外部の税理士、監査法人による監査が行われています。直近の外部の税理士、監査法人からの指摘事項はありません。 | |

4 地域との交流、地域貢献

| | |
|--|---------|
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。 | 第三者評価結果 |
| 【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | a |
| <コメント> | |
| 園では、2025年の事業計画において地域交流計画のテーマを「地域に開かれた保育園としてのPR活動を整える」、園の目指す姿を「多くの人と交流することを経験しやり取りを行う」とし、子どもと地域との交流に積極的に取り組んでいます。地域子育て支援拠点「わっくんひろば」や体操教室、英語教室などの情報を掲示板を通じて保護者に提供しています。子どもたちは、毎週の「商店街ツアー」や月1回の「銭湯でお風呂の日」を通じて地域の人々と触れ合い、社会性を育てています。毎年開催する「どろんこ祭り」は地域住民も自由に参加できる交流行事として定着しています。駅ビル内の園ですが、屋上に管理が行き届いた園庭があります。園見学に来た親子に、園開放の情報提供を行い、駅前にありながら、地域と園の子どもが安心して遊べる場となっています。 | |

| | |
|---|---|
| <p>【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>ボランティアなどの受け入れについては、「保育品質マニュアル」に積極的な姿勢とその意義、手順、心得が明記されており、体制が整えられています。園の事業計画では、小学生の保育園見学、交流や中高生の保育体験の受け入れを計画しており、昨年度は12名の中学生を受け入れました。職員は、受け入れ時に、実習生受け入れと同等の研修を実施しています。施設長の「横浜市幼保小教育交流事業 交流座談会」への参加、園児の小学1年生交流会への参加や小学校の行事見学など、近隣の学校とは密な協力体制が整っています。</p> | |
| <p>(2) 関係機関との連携が確保されている。</p> | |
| <p>【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>園と連携している、鶴見区役所の関係窓口、区の保健所、病院、警察署、消防署、横浜中央児童相談所、区こども家庭支援課、横浜市東部地域療育センターなどの関係機関の連絡先をリスト化しており、園会議で職員間で情報共有しています。施設長は、市の幼保小教育交流事業交流座談会や区の園長会などの地域の会議体に参加し、情報交換や連携を密に図っています。虐待などの権利侵害が疑われる子どもがいる場合には、対応フローに則り、区のこども家庭支援課などの関係機関と連携して対応します。</p> | |
| <p>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p> | |
| <p>【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>園では、園開放時に来園する保護者との会話を通じて、地域の福祉ニーズを把握しています。最近では、病後保育や一時保育の受け入れ、発達障がい等の疑いがある子どもに関する相談が増えていると感じています。毎週の「商店街ツアー」や月1回の「銭湯でお風呂の日」など、地域住民との交流を通じて生活課題の把握にも努めています。園の入り口には着られなくなった衣服を交換できる「勝手籠」を設置しており、人通りが少ない場所にもかかわらず園関係者以外の利用も見られます。こうした取り組みから、地域ニーズの高さを実感するとともに、住民との情報交換の機会が生まれています。</p> | |
| <p>【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>園では、地域向け子育て支援事業を紹介する「ちきんえっぐだより」を毎月発行し、ホームページに掲載するとともに、「わっくんひろば」（鶴見区地域子育て支援拠点）、近隣公園、駅前などで親子連れをはじめ地域の人々に配布しています。梅おにぎりや五平餅づくりを行う「自然食堂」、落ち葉遊びや絵の具遊びを行う「芸術・自然学校」を月1回以上開催し、親子や地域住民の交流を促進しています。子どもたちは鶴見中央地域ケアプラザを訪問し、高齢者との折り紙や会話を通じた交流も実施しています。駅ビル内に所在する園は、ビル全体の防災訓練に参加し、テナントやビルオーナーとの連携を図るほか、屋上園庭への通路として使用している非常階段の自主点検、清掃を行い、安全で快適な環境づくりにも努めています。</p> | |

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

| | |
|---|---------|
| <p>(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p> | 第三者評価結果 |
| <p>【28】 III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>どろんこ会グループは、「私たちの子育て」として、「いうことをきく子を育てるのでも、指示を待つ子を育てるのでもなく、共に遊び、共に労働し、頼り合い、ぶつかり合い、手を差しのべあう。年齢の違いや障害の有無にかかわらず、どの子ども、やってみようこと・思い通りにならないことの両方を実際に経験する」と明示しています。園では、事業計画策定会議やキックオフミーティング、園会議を通じて、子どもを尊重した保育に関する職員の共通理解を確認しています。また、「保育品質マニュアル」を全職員に配布し、いつでも確認できる体制を整備しています。さらに、年2回チェックリストによる自己評価を実施し、保育の質向上に努めています。</p> | |
| <p>【29】 III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>園では、「保育品質マニュアル」に子どもおよび保護者のプライバシー保護に関する方針を明記し、年2回チェックリストを用いてその取り組みを振り返っています。保育室はワンフロアの大部屋構造ではありますが、家具でスペースを仕切り、着替えの際には外部から見えないように目隠しを設けるなど、プライバシーに配慮した工夫を行っています。また、子どもが一人になりたい時や気持ちを落ち着かせたい時には上階のテラスに行き、職員が寄り添うようにしています。保護者には、入園相談や保護者会を通じてプライバシー保護の取り組み内容を説明し、理解と協力を得ながら適切な保育を推進しています。</p> | |

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

【30】 Ⅲ-1-(2)-①
利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。

a

<コメント>

理念・基本方針は園内の事務所に掲示し、パンフレットの設置もしています。また、ホームページ、SNS、入園のしおり、ホームページや二次元コードからアクセス可能な毎月発行する園だよりを使って外部に公表しています。見学担当者は施設長か主任で、見学は随時受け付けています。火曜日、金曜日の16時30分から実施し、30分程度で本部の方針・子どもの過ごし方を話し、質問を聞き、園庭も含めて案内します。見学者にもわかりやすい言葉で丁寧に説明することを心掛け、希望があれば、電話での質問にも答えています。どろんこ会グループならではの行事について説明したり、保護者が知りたいと思われる情報（おむつ、持ち物、費用など）について答えられるように準備をしています。

【31】 Ⅲ-1-(2)-②
保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。

a

<コメント>

2月初旬に新入園の家庭に対して資料を送ります。入園前説明会の実施は3月の中旬で、施設長が参加者全員に平日の夕方に説明会を行います。そのあと保護者一人ずつと面談し、子どもの情報などを聞き取り、アレルギーのある子どもに対しては、アレルギー面談も行います。2枚の重要事項説明書の中の確認欄にチェックを入れたうえで同意のサインをしてもらい、1部は保護者の控えとしています。重要事項説明書の内容の変更をした場合は、本部からの通達を基に説明しています。

【32】 Ⅲ-1-(2)-③
保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。

b

<コメント>

園児が転園する場合は、退園する際に所定の書面に申請をしてもらい、その際に退園理由も可能な限り記載してもらおうようにしています。希望に応じて、引継ぎをする園に対して児童要録を用いて、封書で送ることがあります。児童要録はどろんこ会グループの書式を使用しています。転園の対応をするのはクラス担任ですが、説明をするのは施設長と主任で、口頭で今後も相談に来たり、遊びに来られることを伝えています。今後は保育の継続性に配慮した手順書や、退園の際に行った説明や保護者とのやり取りの記録を作成することを期待します。

(3) 利用者満足の上昇に努めている。

【33】 Ⅲ-1-(3)-①
利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

園では、子どもがさまざまな体験を通して「楽しい」と感じ、翌日も生き生きと登園できるよう工夫を重ねています。各クラスで日々の保育を振り返り、園内で課題を共有しながら改善策を実行する仕組みを整えています。年2回の保護者会では、子どもの成長や日々の様子を振り返り、保護者とエピソードを共有することで信頼関係の構築に努めています。また、毎年実施する「保護者アンケート」の結果をどろんこ会グループ本部で集計し、園内およびグループ担当者間で共有した上で、園会議や月1回のリーダー会議で分析、検討し、具体的な改善につなげています。さらに、保護者の希望に応じて随時個別面談を行い、満足度向上に努めています。

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】 Ⅲ-1-(4)-①
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

b

<コメント>

園では、苦情解決の体制として、苦情解決責任者を施設長、受付担当者をどろんこ会グループ内の2名、第三者委員を同グループ内の4名とし、入園のしおりに明記しています。苦情解決の仕組みを説明した書類は玄関掲示がなく、他の書類とともに綴じられています。今回の第三者評価の利用者調査では、「職員以外の人にも相談できる」との設問に対する保護者の理解度がやや低く、前回評価時にも同様の指摘があり、今後さらなる周知方法の工夫が望まれます。苦情への対応はマニュアルに基づき迅速に行える体制が本部、園ともに整えられています。前回評価時に指摘のあった意見箱については、ポップ掲示や二次元コードの追加などの工夫を行いました。現状では利用が少なく、引き続き利用促進に向けた改善が期待されます。

【35】 Ⅲ-1-(4)-②
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

b

<コメント>

園では、入園のしおりに「保護者アンケート」や、メール、電話によるどろんこ会グループの「ご意見ご提案デスク」、玄関のご意見箱など、複数の相談、意見提出方法を明記しています。ただし、入園のしおりが玄関に他の書類とともにまとめて置かれているため、複数の相談方法があることを、より分かりやすい書類にまとめ、目につきやすい場所に掲示するなどの工夫が期待されます。玄関には気軽に相談できるよう「ご意見箱」の他に「相談ポスト」も設置されています。また、保護者との相談は、相談内容に応じて園内の支援室で対応する体制を整えています。

| | |
|---|---|
| <p>【36】 Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>保護者からの日々の相談は、登園、降園時の職員との対話や連絡用アプリを通じて行われています。特に、お迎え時の「3分間対応」によるコミュニケーションを重視しています。保護者面談は随時受け付けており、施設長は保護者の様子を見て個別面談の声掛けも行っています。相談があった場合は、職員間で速やかに情報共有し、施設長と連携して具体的な対応を実施しています。検討に時間を要する場合は、状況を速やかに保護者へ説明しています。保護者の意見により保育内容の変更が必要な場合は、どろんこ会グループのマニュアル改訂スケジュールに沿って対応しています。</p> | |
| <p>(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p> | |
| <p>【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>施設長がリスクマネジメント責任者を務め、職員間では衛生管理係、安全対策係、防火管理者などの役割分担を行っています。事務所内には関係機関の緊急連絡先を掲示し、事故、けが発生時の対応フローチャートも常備されています。近隣公園や通園経路の危険箇所を記した「ハザードマップ」を作成し、事故防止に努めています。月1回の事故防止委員会では、事故記録簿やヒヤリハット、インシデントの確認、分析を通じて、職員の意識向上を図っています。園内研修として全職員向けのリスクマネジメント研修を実施し、プール活動前には全職員が事故防止訓練を行うなど、安心、安全な福祉サービス提供に向けた体制が整備されています。</p> | |
| <p>【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p> | b |
| <p><コメント></p> | |
| <p>感染症の予防や発生時の対応については、「保育運営マニュアル」の衛生管理マニュアルに基づき体制が整備されています。4月に行われる園のキックオフミーティングでは、全職員が嘔吐処理方法をロールプレイングで確認し、適切な対応を習得しています。保護者には、どろんこ会グループより月1回「保健だより」が送付され、衛生に関する情報提供が行われています。一方、第三者評価の利用者調査では、「感染症の発生状況や注意義務の情報提供」に関する評価がやや低めでした。要因の検証を行い、保護者へのより適切な情報提供の工夫が期待されます。</p> | |
| <p>【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>災害時の対応については、「保育運営マニュアル」の危機管理項目に基づき体制が整備されています。当園は駅ビル内にあり、防災訓練は、ビルのテナントとともにを行っています。鶴見区のハザードマップでは、浸水や土砂災害の対象地域外に位置しています。子どもの安否確認には連絡用アプリを活用し、保護者向けにテスト配信を行うなど、連絡練習を行っています。避難訓練は毎月異なる設定で行い、施設長不在時に主任が現場責任者として対応するケースも実施しています。備蓄品リストを作成し定期点検を行うほか、事業継続計画（BCP）も策定し、マニュアルに記載されています。</p> | |

2 福祉サービスの質の確保

| | |
|---|---------|
| <p>(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p> | 第三者評価結果 |
| <p>【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>保育の標準的な実施方法は、「保育品質マニュアル」「保育運営マニュアル」に記載されており、全職員が年2回、チェックリストを用いて子どもの尊重やプライバシー保護などを確認し、人権の重要性について話し合っています。毎年、どろんこ会グループ内部監査室による監査が実施され、「内部監査チェック表」を活用して園内の課題を抽出し、職員間で改善策を検討、対応しています。また、保育が画一的にならないよう、子どもが自ら遊びを選べる環境づくりを心掛けており、個々の発達や興味に応じた保育の提供に努めています。</p> | |
| <p>【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p> | a |
| <p><コメント></p> | |
| <p>保育の標準的な実施方法の見直しは、毎月の施設長会議での各園の運営改善をもとに、年1回、施設長が中心となって検討を行い、「保育品質マニュアル」の改訂につなげています。施設長は、10月のマニュアル改訂会議において、園会議での議論や業務上の気づき、園内の指導計画を「園からの提案」として挙げています。どろんこ会グループの各園は、保護者アンケート結果や保護者からの意見、提案について、日頃から本部と連携して対応しており、これらの内容も必要に応じてマニュアルの改訂につなげています。</p> | |

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

【42】 Ⅲ-2-(2)-①
アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。

b

<コメント>

指導計画作成の責任者は施設長です。主任はクラス担当職員の総括を担っているため、全体的な計画の策定のサポートや、年間指導計画策定時の相談にも応じています。年間指導計画は、全体的な計画に基づき、各クラスの担任が子どもの姿を反映させながら作成しています。また、送迎時の会話や保育参加などの際に収集した保護者アンケートからの保護者の意見も踏まえ、検討しています。クラス会議やリーダー会議の中で、日案や行事などの指導計画の見直しなども行っています。3歳児以上の子どもの個別指導計画は作成していないので、今後作成を検討することを期待します。

【43】 Ⅲ-2-(2)-②
定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。

a

<コメント>

策定会議は3月に全職員が集まって検討し、次年度の案を作成しています。子どもの成長発達に関する省察等を踏まえ、保育の質について検討しています。また、保護者の意向、意見も把握し、それも踏まえています。各種指導計画に関しても各種会議で振り返りを実施し、次の計画に生かしており、決定後は職員に周知されています。

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】 Ⅲ-2-(3)-①
子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

a

<コメント>

入園前面接時に子どもの発達過程や様子を確認し、記録しています。1、2歳児は個別指導計画を作成しており、一人ひとりの発達状況や経過の記録が各クラスの指導計画に生かされています。3～5歳児は各クラスの指導計画を作成しています。また、一人ひとりの子どもに個別経過記録があり、子どもの年齢に合わせて子どもの様子を書いています。計画や経過は園業務支援システム内で記録され、職員は業務用のパソコンやスマートフォンから閲覧できるようになっています。昼礼や園会議では、子どもの様子に関して情報共有を行っています。システムのチャット機能も情報共有に活用しています。

【45】 Ⅲ-2-(3)-②
子どもに関する記録の管理体制が確立している。

a

<コメント>

保育品質マニュアルの中で、どろんこ会グループで取り扱う個人情報の保護について定義しています。各種書類の扱い、職員による個人情報の扱い、保護者への個人情報の取り扱いについての説明等を記載しています。保護者には、入園説明会及び面談や懇談会で説明しています。また、システム上の入園時申し込みフォームへの入力の際、個人情報の取り扱いに関する同意確認をしています。職員全員に対し、情報セキュリティチェックを年に2回実施しています。さらに施設長は、3月のキックオフミーティングで、個人情報の取り扱いに関する園内研修を行っています。

第三者評価結果

事業所名：P'sスマイル保育園

A-1 保育内容

| A-1-(1) 全体的な計画の作成 | 第三者評価結果 |
|---|---------|
| <p style="margin: 0;">A-1-(1)-①</p> <p style="margin: 0;">【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p> | a |
| <p style="margin: 0;"><コメント></p> <p style="margin: 0;">全体的な計画は、どろんこ会グループの方針などが設定された、本部が作成した骨子に基づき、自園の状況を踏まえ作成しています。保育理念や保育方針、保育に関する基本原則、保育所の社会的責任などは共通ですが、園の目標、保育のねらい及び内容は、園独自のものとなっています。地域の実態も踏まえ、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿も含まれています。全体的な計画は、3月の策定会議で職員が話し合っ、当年度の内容を振り返りを実施し、前年度の反省を基に検討した内容を次年度に生かしています。</p> | |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | 第三者評価結果 |
| <p style="margin: 0;">A-1-(2)-①</p> <p style="margin: 0;">【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p> | a |
| <p style="margin: 0;"><コメント></p> <p style="margin: 0;">本部のマニュアルに準じた環境設定をしています。その日の子どもたちの活動に合わせて、きれいに使う区域と汚してもいい区域を分けるなど、室内条件を決めています。清掃は全園共通の清掃チェック表で管理しており、早番と遅番の担当区域や、週に一回の清掃区分も決めて、清掃しています。ワンフロアの保育室なので、落ち着ける場所やくつろげる場所の設定を工夫しています。食事と睡眠の生活空間は、その日の活動内容によって区切っています。おもちゃなどは子どもたちが手に取りやすい場所に置くようにしています。</p> | |
| <p style="margin: 0;">A-1-(2)-②</p> <p style="margin: 0;">【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p> | a |
| <p style="margin: 0;"><コメント></p> <p style="margin: 0;">年齢やクラスにかかわらず、全職員で子ども一人ひとりに関わることをとしています。まだ自分の気持ちを上手く表せない子どももいるので、職員の配置を工夫し、子ども同士のけんかなどに迅速に対応できるようにしています。さらに職員は、否定的な言葉を使わないようにする、子どもの名前を呼び捨てにしないようにするなどの配慮をしています。子どもに対して制止させる言葉ではなく、「走るのはなく歩こうね」などといった言葉で、子どもが自分で考えられるようにしています。</p> | |
| <p style="margin: 0;">A-1-(2)-③</p> <p style="margin: 0;">【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p> | a |
| <p style="margin: 0;"><コメント></p> <p style="margin: 0;">日々の活動をする際は、どろんこ会グループの方針に合わせていますが、基本的な生活習慣の習得については、子ども一人ひとりの状態に合わせています。子ども一人ひとりの発達の状態を園会議や職員間のチャットで共有し、子どもそれぞれの発達段階に合わせた言葉がけを行っています。ワンフロアの保育室の中で、午睡時には静かな環境づくりを行い、子どもが体を休められるようにしています。子どもが自分でやろうとする姿を大切にしながら見守ったり、絵本などを用いて分かりやすく説明をしたりして、子どもに合わせた援助をしています。3歳児以上の子どもは、自分で考えることが身につくため、視覚的な刺激を大切に、保育室の中の表示を子どもの目に付きやすく、行動に移しやすいように工夫しています。職員は子どもたち一人ひとりを見守りながら、「自分でできている」と感じられるような支援をして、子どもたちが達成感や喜びを感じられるようにしています。</p> | |
| <p style="margin: 0;">A-1-(2)-④</p> <p style="margin: 0;">【A5】 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p> | a |
| <p style="margin: 0;"><コメント></p> <p style="margin: 0;">1~5歳児が共に暮らすゾーン保育を実施しているので、異年齢の子どもたちの活動を見て、子どもが自分で遊びや活動を選べるようになっていきます。職員は子ども自身が、自分は何をしたいのかを考え、行動できるようにしています。製作活動ができるゾーンは、様々な素材を置いておき、子どもが自分で遊び方を考えられるようにしています。1歳児からすでに自我の芽は出ていると考え、自分のやりたいことが選べるようにしています。散歩を積極的に行い、年齢に応じて徐々に歩ける距離を延ばしています。年上の子どもが玄関で年下の子どもが靴を履くことを手伝ったり、散歩と一緒に歩くときに手をつないだり、車道側を年上の子どもが歩いたり、階段を下りたりするとき年上の子どもが年下の子どもの様子を見ながら一緒に降りたりといった異年齢の関わりが見られています。</p> | |

| | |
|--|------------|
| <p>A-1-(2)-⑤ 【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | <p>非該当</p> |
| <p><コメント> 0歳児保育は実施していません。</p> | |
| <p>A-1-(2)-⑥ 【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> ワンフロアの保育室の中で、1、2歳児が過ごしやすい環境づくりをしています。エリアは緩い区域分けをして、ほかの年齢の子どもがきても、一緒に遊べるようにしています。職員は子どものけんかなどの際は、子どもの言動を受け止めて、子どもの気持ちに寄り添った対応をしています。職員は保護者と保育業務支援システムのアプリを活用し、当日の子どもの様子を伝えあっています。</p> | |
| <p>A-1-(2)-⑦ 【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> 3歳児に対しては、一人ひとりに合わせて支援しています。着脱に関しては、脱ぎ方や着方だけでなく、着替えの場所を広げすぎないようなやり方を教えています。4歳児は、集団で過ごす練習をし始め、朝の会に集まることから流れを教え、一日の活動について理解していくようにしています。食事の際はフォークと箸を両方用意し、自分で選べるようにします。5歳児は、基本的な生活習慣は出来ているので、園で年下の子どもたちの手本となっています。職員は、子ども同士で話し合う場面もある遊びを提案し、遊びの中で友だちとの協力ができるよう促しています。遊び方に関する約束を子どもたちに伝え、遊ぶ時間帯を分けたり、遊ぶ道具を選んだりしています。</p> | |
| <p>A-1-(2)-⑧ 【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> どろんこ会グループが大切にしている子育て内容の一つに、インクルーシブ保育があります。子どもたちは障がいの有無にかかわらず一緒に、職員全員と関わりあいながら生活しています。障がいのある子ども、配慮を必要とする子どもについては、その月の課題点と援助方法を職員間で毎月話し合い、ケース会議録に記録しています。個別指導計画は前期、後期に分かれており、ケース会議で毎月状況を話し合います。定期的に保護者と面談をし、その記録を残しています。保護者とは送迎時にも会話をしています。職員はどろんこ会グループが運営する研修プログラムを受講して、得た知識を職員会議で報告しています。職員は療育センターと連携し、各年齢の指導計画にも照らし合わせ、配慮が必要な子どもが、無理なく一緒に活動ができるようにしています。専門機関との連携として、巡回相談などで来園してもらい、助言を受けています。</p> | |
| <p>A-1-(2)-⑨ 【A10】 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> 年間指導計画の中に年齢ごとに長時間にわたる保育への配慮についての記載があり、家庭的な雰囲気の中、安心して落ち着いて遊べる場を作り、疲れが見られる場合はゆっくり休める環境を整えていくことを大切にしています。職員は、夕方子どもが少なくなるにつれ、子どもが好きなおもちゃを出したり、フラフープなどの体を動かせるものを出してみたりして、子どもが選べるようにしています。トンネル、ブロック、読書などで遊んでいます。洗濯や掃除をする職員を手伝う子どももいて、楽しみながら一緒に行っています。延長保育は、保護者には、19時30分以降の降園になる場合、申し込みによって夕飯を提供しています。職員は子どもの様子やケガがあった場合には、口頭でも引継ぎを行い、保護者に伝えています。</p> | |
| <p>A-1-(2)-⑩ 【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p> | <p>a</p> |
| <p><コメント> 園独自の書式「5歳児と小学校1年生との年間連携計画」を作成し、それに基づいた保育をしています。1年を4期に分けて年間指導計画を作成し、ねらい、小学校との連携、職員間の対応について記載しています。担当するのは5歳児の担任と主任で、園と小学校の交流のマニュアルに従って、年に3、4回実施される区役所の会議などに出席しています。保護者とは、小学校に入学するまでの生活の見通しを、活動計画やお便り、懇談会、個人面談で伝え、保護者の気にかかる事柄なども聞きながら、一緒に考えていきます。小学校へは、児童要録を送付しており、障がいのある子どもに関しては、保護者の依頼に応じて小学校の先生が来園した際などに情報交換をしています。小学校と連携して交流会や見学会などを実施し、小学校生活に見通しが持てるようにしています。</p> | |

| | |
|---|---------|
| A-1-(3) 健康管理 | 第三者評価結果 |
| 【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>保健計画は、どろんこ会グループの統一した様式で、施設長と主任が作成しています。保育品質マニュアルの中に園児健康管理の項目があり、健康管理、保健責任者、保健計画の制定と見直し、定期診断、既往症、日々の健康状態の把握、病気発生対応等の項目を制定しています。保育運営マニュアルにも保健計画についての記述があります。内容は保健指導計画策定、具体的活動、参考欄などで構成されています。園では毎月1回の身体測定、年2回の内科検診、年2回の歯科検診を実施しています。予防接種の状況に関する情報は、入園時に収集し、園児台帳で管理しています。園だよりでは、毎月健康に関してのお知らせを配信しています。朝、受け入れ時に保護者から聞き取った情報を保育業務支援システム内の「伝達ボード」に記入し、職員間のチャットで情報共有しています。お迎え時には、保護者に体調やけがの経緯説明をしています。本部から健康管理に関する情報が配信された場合は、状況によっては園内で検討し、対処策を練っています。</p> | |
| 【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 | a |
| <p><コメント></p> <p>年2回、嘱託医が内科健診、歯科検診を行っています。診断結果は健康診断表に記録され、職員で情報共有しています。身体測定は毎月園の職員が行い、結果を保育業務支援システムのアプリに記載します。また、診断結果は保護者に渡して、確認、押印してもらっています。その際、嘱託医からの伝達事項も伝えています。園では個別の健康診断票ファイルを作って保管しています。健診結果はまとめ、次年度の保育計画を作成する際に反映させます。</p> | |
| 【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>「保育品質マニュアル」「保育運営マニュアル」を基に、アレルギー疾患を持つ子どもの対応をしています。入園時に提出してもらった医師の診断書に基づき、入園説明会の後のアレルギー面談で情報共有します。入園後は6か月に1度、通院してもらい、子どもの状況について保護者と情報共有しています。降園の際にも、食事に関する情報を共有しています。1～2歳児は連絡帳でも連絡を取り合っています。アレルギー面談は入園後、6か月ごとに行っています。献立表の確認は前月の終わりまでに保護者に渡し、署名と捺印をもらっています。食事提供に関わる職員は、園内研修を受講し、保育品質マニュアルに基づき、調理師、職員の2人のチェックを経てから子どもに提供し、誤食がないようにしています。</p> | |
| A-1-(4) 食事 | 第三者評価結果 |
| 【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | a |
| <p><コメント></p> <p>食育計画表を作成し、年齢ごとに目標や活動内容を決めています。子どもたちに人気のあるレシピは、紙面にして掲示し、保護者が確認できるようにしています。食事に関する質問などは栄養士が口頭で答えています。園庭での野菜栽培、クッキングなどの食育活動を行っています。クッキングは、乳児と幼児で同じテーマで実施し、年齢ごとの内容に合わせて作業を分けています。提供する食事は、春は1、2歳児は食材の切り方を変えて、柔らかく仕上げています。昼食は、毎日バイキング形式で提供しています。自分たちでの食事の盛り付けは、2歳児クラスから練習を始めて、徐々に自分でできるようになっています。縁側給食は施設の事情から毎日実施せず、遠足の日に実施しています。</p> | |
| 【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | b |
| <p><コメント></p> <p>衛生管理基準として、保育品質マニュアルの中の毎月衛生管理点検表、毎週衛生点検表、衛生管理点検表があり、調理担当職員が衛生管理状態をチェックしています。メニューは本部が作成し、1か月2サイクルとなっています。献立は本部の食育プランナーからアドバイスを受け、旬の野菜を取り入れています。本部では、給食米を自給自足する体制を整え、園でもその米を使用して子どもたちに提供しています。食材は、国産のものを主としています。食育活動で育てた野菜を使用した料理や、行事食の提供を行っています。栄養士は子どもたちと一緒に食事を摂って、一人ひとりの嗜好や食事量を把握しています。職員も子どもたちと一緒に食事をしています。設備上の問題ではありますが、厨房の入り口の扉が開放状態であることについては改善を検討されることを希望します。</p> | |

A-2 子育て支援

| | |
|--|---------|
| A-2-(1) 家庭と緊密な連携 | 第三者評価結果 |
| 【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a |
| <p><コメント> 全年齢の年間指導計画に保護者との連携の欄を設け、保護者に対する配慮を記載しています。1歳児では子ども一人ひとりの環境に合わせた保育について考えること、2歳児では家庭での養育についての悩みや困惑についての共感と連携、3歳児では子どもの成長や言動、基本的な生活習慣について情報共有、4歳児では、養育について家庭で戸惑っていることや困惑していることをがなないかを日々のコミュニケーションで把握し、5歳児では小学校への進学へ向けての保護者支援を行うようにしています。懇談会は年2回開催し、どろんこ会グループの方針や保育内容について話をしています。また、保育参加を実施し、さらに希望に応じて個人面談も行っています。保育参加や面談は保護者の状況に応じて職員から実施の呼びかけをしたりして、保護者が相談しやすい雰囲気を作って対応しています。</p> | |
| A-2-(2) 保護者等の支援 | 第三者評価結果 |
| 【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | a |
| <p><コメント> 職員は毎日、お迎え時に3分間の会話をし、その日の子どもの様子を伝えています。保育参加は随時1年を通していつでも可能としており、参加後には保護者に子どもと同じ食事の提供もしています。職員は子どもの環境や保護者の就労状況に配慮しながら、必要に応じて個別の面談に応じています。面談には担当のほかに、施設長と主任が対応し、面談シートに記録しています。面談は地域支援を行っている「ちきんえっぐ」の部屋で行います。</p> | |
| 【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a |
| <p><コメント> 保育品質マニュアルをキックオフ会議の際に、職員で読み合せるとともに、保育の質を上げる会議の中で話すこともあります。園会議の中でもマニュアルの読み合わせや、年2回の虐待防止研修を行っています。子どものけがの状態、服装の乱れや汚れなどで虐待の疑いが生じた際には、日付、名前、けがの場所と内容を記録し、写真撮影も行い、職員で情報共有します。気になることがある場合には、担当職員からの報告を受けて施設長が、本部と相談したうえで保護者面談を行うこともあります。職員間のチャット、昼礼、園会議、お迎え伝達ボードなどで虐待や人権侵害等に関する最新情報の共有を行っています。虐待等が発生した際は、児童相談所、鶴見区の家庭支援課と連携する体制が出来ています。</p> | |

A-3 保育の質の向上

| | |
|--|---------|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） | 第三者評価結果 |
| 【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a |
| <p><コメント> 自己評価は目標管理制度（MBO）での評価で、職員が振り返りを行っています。職員が行う自己評価表の内容は①子育てサービス、②帳票、③セルフチェックの3部門に分かれています。保育園、併設園、センター、単独園の欄があり、どろんこ会グループ共通となっています。職員は該当する欄に丸印を入れていきます。その後、面談、園会議、子育ての質を上げる会議を行い、学び合いの場を作っています。職員の自己評価では、職員が施設長と個別面談を行っていますが、園の自己評価としては発表していません。保育所全体の自己評価につなげる仕組みとしては、内部監査室による内部監査の時にセルフチェック表を職員が各自チェックし、本部が確認し、まとめています。個々の職員の自己評価を保育の実践や改善につなげているかについては、施設長が面談で目標達成度を聞き取り、判断したうえで本部に報告し、その後本部が判定します。</p> | |

福祉サービス第三者評価 利用者調査結果

結果の特徴

実施期間：2025年 8月 25日 ～ 2025年 9月 5日

実施方法・・・園を通して案内を保護者へ配付、各保護者がWebアンケートシステムにて回答

回収方法・・・Webアンケートシステムにて匿名にて回収

調査対象世帯数： 46 有効回答数： 30 回収率： 65.2%

保育園に対する総合的な感想は、「満足」が18人（60.0%）、「どちらかといえば満足」が9人（30.0%）で合計27人（90.0%）でした。

自由意見には、「自然と触れる機会の少ない時代に、自然とより触れ合い雨の日も水に触れ自ら新しい発見が出来るように促してくれるところが非常に良いと思っています」「食育に力を入れたり、商店街ツアーなどで地域住民との関わりの場を創出したりしているところが素晴らしいと思います」「他の保育園がやっていない、カリキュラムが多々あり面白いです」「子どもに合わせて柔軟に対応してくれたり、親の気持ちにも寄り添うような話し方をしてくれます」「泥遊びや木登り、銭湯など親だけではなかなか与えられない環境や体験、遊びを提供いただいています」など、園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「問12. 献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていませんか」で100.0%、「問9. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や地域と関わる機会は十分確保されていますか」で96.7%、「問14. 園内は清潔で整理、整頓され、子どもが心地よく過ごすことのできる空間になっていますか」で93.3%の保護者が「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

結果の詳細

■園の理念・方針について

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|-------------------------------|-------|---------------|-------|------|------|--------|
| 問1. 園運営の基本的な考え方(理念・方針)をご存じですか | 20 | 7 | 3 | 0 | 0 | 30 |
| | 66.7% | 23.3% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |

■入園時の状況について

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|--------------------------------------|-------|---------------|-------|------|------|--------|
| 問2. 年間の保育や行事について、説明がありましたか | 21 | 6 | 3 | 0 | 0 | 30 |
| | 70.0% | 20.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 問3. 入園前の見学や説明など、園からの情報提供はありましたか | 24 | 4 | 1 | 0 | 1 | 30 |
| | 80.0% | 13.3% | 3.3% | 0.0% | 3.3% | 100.0% |
| 問4. 入園時の面接などで、子どもの様子や生育歴などを聞いてくれましたか | 27 | 1 | 1 | 0 | 1 | 30 |
| | 90.0% | 3.3% | 3.3% | 0.0% | 3.3% | 100.0% |
| 問5. 園で収集した個人情報の取り扱いについて、説明はありましたか | 23 | 5 | 2 | 0 | 0 | 30 |
| | 76.7% | 16.7% | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |

■利用者を尊重する姿勢について

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|--|-------|---------------|------|------|------|--------|
| 問6. あなたや子どものプライバシー(見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていますか | 27 | 2 | 0 | 1 | 0 | 30 |
| | 90.0% | 6.7% | 0.0% | 3.3% | 0.0% | 100.0% |
| 問7. 職員は、子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか | 25 | 5 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| | 83.3% | 16.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |

■日ごろの保育内容について

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|--|--------------|---------------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 問8. 子どもの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていると思いますか | 25 83.3% | 5 16.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問9. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や地域と関わる機会は十分確保されていますか | 29 96.7% | 1 3.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問10. 昼寝や休息は、子どもの状況に応じた対応がされていますか | 27 90.0% | 1 3.3% | 1 3.3% | 0 0.0% | 1 3.3% | 30 100.0% |
| 問11. 基本的な生活習慣(衣服の着脱・排泄など)の自立に向けて、園は家庭と協力しながら子どもの成長に合わせて取り組んでいますか | 25 83.3% | 3 10.0% | 2 6.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問12. 献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていますか | 30 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問13. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていますか | 27 90.0% | 2 6.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 3.3% | 30 100.0% |

■園の快適さ・安全対策について

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|---|-------------|---------------|-------------|-----------|-----------|--------------|
| 問14. 園内は清潔で整理、整頓され、子どもが心地よく過ごすことのできる空間になっていますか | 28 93.3% | 1 3.3% | 1 3.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問15. 保育中の発熱やけがなど、子どもの体調変化への対応(処置・連絡など)は、十分されていますか | 27 90.0% | 2 6.7% | 1 3.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問16. 安全対策が十分とられていると思いますか(事故防止、不審者対応、緊急時の対応など) | 19 63.3% | 8 26.7% | 2 6.7% | 1 3.3% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問17. 感染症の発生状況や注意事項などの情報を伝えてくれていますか | 12 40.0% | 7 23.3% | 10 33.3% | 1 3.3% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問18. 園には、災害発生時などを想定した緊急時の連絡体制はありますか | 25 83.3% | 3 10.0% | 0 0.0% | 1 3.3% | 1 3.3% | 30 100.0% |

■園と保護者との連携・交流について

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|--|-------------|---------------|-----------|------------|-----------|--------------|
| 問19. 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会はありますか | 27 90.0% | 2 6.7% | 1 3.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問20. 送り迎えの際、子どもの様子に関する情報のやり取りは十分ですか | 21 70.0% | 7 23.3% | 2 6.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問21. 子どもに関する悩みや不安などについて、気軽に相談しやすいですか | 22 73.3% | 7 23.3% | 0 0.0% | 1 3.3% | 0 0.0% | 30 100.0% |
| 問22. 開所時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれていますか | 21 70.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 7 23.3% | 2 6.7% | 30 100.0% |

■ 不満・要望への対応

| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 非該当 | 無回答 | 合計 |
|---|-------|---------------|-------|-------|------|--------|
| 問23. 園長や職員に対して日ごろ不満に 思ったことや要望は伝えやすいですか | 18 | 6 | 2 | 4 | 0 | 30 |
| | 60.0% | 20.0% | 6.7% | 13.3% | 0.0% | 100.0% |
| 問24. 園は、保護者の要望や不満などに、 きちんと対応してくれていますか | 17 | 7 | 0 | 6 | 0 | 30 |
| | 56.7% | 23.3% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | 100.0% |
| 問25. 要望や不満があったときに、職員以外の 人(役所や第三者委員など)にも相談できるこ とを、園はわかりやすく伝えてくれていますか | 12 | 9 | 5 | 3 | 1 | 30 |
| | 40.0% | 30.0% | 16.7% | 10.0% | 3.3% | 100.0% |

■ 総合的な満足度

| | 満足 | どちらかと いえば満足 | どちらかと いえば不満 | 不満 | 無回答 | 合計 |
|------------------------------|-------|----------------|----------------|------|------|--------|
| 園を総合的に評価すると、どの程度満足し ていますか | 18 | 9 | 2 | 0 | 1 | 30 |
| | 60.0% | 30.0% | 6.7% | 0.0% | 3.3% | 100.0% |

株式会社 学研 Advance
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証